



静岡大学よさこいサークル
「お茶ノ子祭々」12代目メンバー
かごたに はるか
籠谷 遥さん（本市場）

富士青春市民になって、
一緒に富士市を盛り上げよう!!

このコーナーでは「いただきへの、はじまり」を
胸に頑張る“富士青春市民”を紹介します!

いただきへの、はじまり 富士市

"We are / 青春市民"

富士青春市民を随時募集中です

富士青春市民

検索



よさこいを始めたきっかけは？

3歳のとき、地域の祭りでよさこいを踊っている人たちを見かけました。みんなとても楽しそうで、踊っている姿が輝いて見えました。その祭りで、誰でも参加できる総踊りがあり、私も初めてよさこいを踊りました。子どもながらによさこいの楽しさを知り、その後すぐに地元で活動している子どもだけのよさこいグループ「未来童」に所属しました。高校生まで活動しましたが、卒業後もよさこいを続けたかったので、全国で活動を行っている静岡大学のよさこいサークル「お茶ノ子祭々」に入りたいという理由から進学先を決めました。

現在のサークル活動は？

現在、1～3年生の総勢88人で活動しています。今年、3月、浜松市で行われる「全日本よさこい選手権」で、お茶をテーマにした演舞を披露する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。それ以外にも演舞を披露する場がほとん



大好きな「よさこい」で、地域を盛り上げたい!



▲「お茶ノ子祭々」の
YouTubeチャンネル
はこちら

どなくなってしまったため、今の私たちにできることを考え、現在はお茶の産地である静岡県を盛り上げる動画を制作しています。この動画は、県内の産地でオリジナルソング「茶幸歌」に合わせて踊り、茶農家の皆さんにお茶の魅力を取材した様子を交えたもので、大淵笹場でも撮影を行いました。11月15日(日)に公開予定なので、多くの人に見ていただき、元気になってもらえたらうれしいです。



今後の目標は？

私は現在3年生で、今年の11月でサークルを引退します。よさこいは、みんなで一体感を味わえるだけでなく、見ている人をわくわくさせたり、感動を与えたりすることができます。また、いろいろな人とつながるきっかけにもなるため、今後も地域に根差した団体で活動を続け、まちを盛り上げていきたいです。



富士山がきれいに見え、人が温かく、住みよいまちです!そして何より、踊りであふれています!

こちら編集室「情報社会を生きる」

今回の特集は情報との向き合い方に関するものでした。近年の情報技術の発展は目覚ましく、時と場所を選ばず、誰でも様々な情報を取得したり、発信したりできるようになっています。便利な時代ですが、その一方で情報の取捨選択が難しくなっていると感じます。何を信じたらよいか分からない。そんな時代だからこそ、私たちは広報ふじやSNSなどを通じて、皆さんに正しい情報を的確に発信していきたいと思っています。(小鈴)

【人口と世帯】10月1日現在

人口: 252,361人 (前月比+143)
男124,995人 女127,366人
世帯: 108,025世帯 (前月比+38)

【編集・発行】

総務部シティプロモーション課広報広聴担当
〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100
☎0545-55-2700 ㊟0545-51-1456

富士市コールセンター
おしえてコールふじ
☎53-1111

受付時間/8:30~18:00
受付日/年末年始除く毎日

UD FONT
by MORISAWA